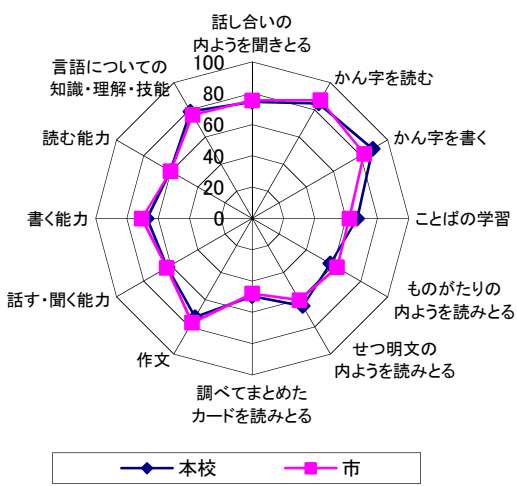


宇都宮市立清原東小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	74.5	75.4
	かん字を読む	84.8	87.2
	かん字を書く	88.8	82.5
	ことばの学習	67.0	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	57.6	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	64.6	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	49.6	48.0
	作文	72.7	76.8
観点別	話す・聞く能力	62.5	63.0
	書く能力	67.3	70.6
	読む能力	60.4	60.2
	言語についての知識・理解・技能	78.8	76.3



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・平均正答率は、市平均と同等である。 ・話の中心や内容の聞き取り、話し方の工夫の聞き取り、話し手の考えの共通点を聞き取り話すことの正答率がやや低い。	・人の話をきちんと聞く経験を多くさせるために、その機会をできるだけ多く設けるようにする。 ・話し方の指導をし、伝えたいことを明確にして、わかりやすく話すことができるようにする。
かん字	・平均正答率は、市平均を下回っている。 ・前学年、現学年の漢字の読みで正答率が、市平均よりも低いものがあつた。	・朝の学習や家庭学習において、漢字練習や読書の機会を多く設け、定着を図る。
かん字を書く	・平均正答率は、市平均を上回っている。 ・前学年、現学年の漢字の書きで正答率が、市平均よりも高かつた。	・家庭学習において、漢字練習や言葉の意味調べ等を行い、あらゆる機会に、いろいろな方法で数多く練習させ定着を図る。
ことばの学習	・平均正答率は、市平均を上回っている。 ・国語辞典の使い方、ローマ字の読み方で市平均よりも高かつた。 ・漢字のへんの理解で市平均よりも低い。	・国語(漢字)辞典の使い方に習熟させ、より一層の定着を図る。 ・漢字の学習のときに漢字のつくりの理解も広げるようにする。
ものがたりの内ようを読みとる	・平均正答率は、市平均を下回っている。 ・登場人物の気持ちの読み取りで正答率が高く、場面の移り変わりやあらすじの読み取りで正答率が低い。	・家庭学習で読書をすることを薦め、文学的な文章に慣れ親しむ機会を多くする。 ・登場人物や場面の様子に注意して、丁寧に読み進めるような活動を設定し、読解力を高める。
せつ明文の内ようを読みとる	・平均正答率は、市平均を上回っている。 ・文と文のつながりを考えながらの文章の読み取りで正答率が高い。	・説明文の学習では、段落ごとに要点をまとめ内容を理解するようするとともに、段落と段落の関係をとらえさせて、文章全体の構成を考えさせるような学習活動を多く取り入れていく。
調べてまとめたカードを読みとる	・平均正答率は、市平均を上回っている。 ・資料の正しい読み取り、その上での適切な言葉での説明で正答率が高い。	・資料を的確に読み取り、それをもとに内容をまとめたり、考えを表現したりする活動を設定し、活用する力を高める。
作文	・平均正答率は、市平均を下回っている。 ・指定された二段落構成で文章を書くことができなかった。	・目的に応じた文章の書き方や構成を理解させるとともに、書き方の習熟を図る。